資料2

令和2年度　山科区地域における健康づくり事業計画

健康課題

1
- 高齢化の進行がみられる。
- 口腔機能低下，認知機能低下者の増加の恐れ。
- 単身高齢世帯の増加。

2
- 市が実施する健診対象者が多く受診勧奨の必要性が高い。
- がん検診受診率が低い。
- 悪性新生物の死亡割合が高い。
- 特定健康診査受診率が低い。
- 生活習慣病（高血圧・糖尿病）が多い。

3
- 結核罹患率が高く，喀痰塗抹陽性患者や高齢者の罹患割合が高い。
- 接触者健診等の実施率が低い。
- 全国的に性感染症が増加。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

4
- 核家族化，貧困家庭，ひとり親世帯が多い。
- 支援を要する児童等が多い。

5
- 精神疾患・障害を抱えながら生活する人が多い。
- 経済力，家族力の弱い世帯が多く，身近な支援者がいない障害者も少なくない。
- 要支援者のみの家庭など，不適切な養護や介護から二次的課題が発生しやすい。

主な取組項目

A
- 健康づくりサポーターやその他ボランティアと共にロコモ予防，口腔機能低下予防について啓発
- 骨粗しょう症予防啓発
- 熱中症予防の啓発
- 認知症についての正しい理解
- 社会参加に結び付く働きかけ

B
- がん検診の啓発
- 特定健康診査の啓発
- 山科区の健康課題等の理解を深める
- 生活習慣の改善
- 慢性腎機能障害予防啓発
- 禁煙について啓発，保健指導
- 健康に関する情報発信

C
- 結核の正しい理解の普及啓発
- 胸部検診の周知
- 結核の早期発見・蔓延防止
- 肝炎疾患の早期発見・治療の啓発
- エイズ，梅毒，その他感染症予防の啓発
- 新型コロナウイルス感染予防の啓発

D
- 妊娠期からの切れ目のない支援課題や困難を抱える子どもや子育て家庭への支援
- 妊娠出産に関する正しい知識の普及啓発
- 地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりの促進

E
- 支援のネットワークの構築
- 精神保健福祉に関する普及啓発により，障害のある人の地域生活を支援する環境づくり
- 適切な医療の継続や障害福祉サービスの適用等による支援

令和元年度の取組

a
- 健康づくりサポーターと共にウォーキングとロコモ予防体操の実施機会を区役所及び東山自然緑地で新たに設けた。「山科わっはっは体操」の周知に努め，一部の地域では，役員等が自ら実施されるようになった。さらに，実施の定着に向けCDを制作。
- 健康教室など地域に出向いて積極的に実施。
- 認知症の正しい理解として認知症「声かけ訓練」を7学区で実施。

b
- がん検診については，受診率は伸びず。手軽な大腸がん検診は積極的に検査キットを配布し，受診件数は増加傾向。症状がないため利用しない等のアンケート結果があるため，正しい周知が必要である。
- 地域に出向いた健康教室では、糖尿病予防についても講話内容に入れて啓発に努めた。身近な健康問題として理解を深める必要がある。
- 禁煙指導は利用者少なく，効率を上げるための検討が必要である。

c
- 結核罹患率は令和元年に上昇。
- 発生が多い高齢者に関わる職種に啓発を実施したが，継続して胸部検診の受診等啓発を実施していく。
- 医療機関従業員においても胸部健診受診率が低かったが，受診勧奨をすることで上昇した。継続した受診勧奨が必要である。
- 中学生への性感染症の健康教育を実施。

d
- 思春期健康教育について，小学校からの依頼あり低年齢対象にも取り組めた。また，未実施中学校との協議を進めた。
- 地域の子育てサロンから新規の健康講座依頼があった。地域出張型の健康づくり講座の充実を図る。
- 地域課題の共有等のため児童館連携会議を設置した。
- 育児不安のある母子の交流会参加者減少原因分析及び参加勧奨必要である。
- フッ化物歯面塗布利用率が低いため，啓発チラシ，アプリ等で受診勧奨を図った。歯の健康教室等を実施した。

e
- 「山科こころの健康を考える会」の夏まつり開催にて障害の有無を超えて交流を促進できた。
- 精神障害や発達障害について理解を促す紙芝居（「統合失調症」に加え，新たに「発達障害」編を作成）を活用して啓発に取り組み，関心を持ってもらう機会に繋がっている。
- 「山科こころのマップ」を発行して情報提供に努めた。

令和2年度の取組

フレイル予防に向けた取組
- 共汗ウォーキングの実施，サポーター活動の支援
- **「山科わっはっは体操」CDを活用した普及，DVDの制作**
- 口腔機能教室の開催
- ロコモ予防体操の普及
- イベント等を通じて地域と連携した健康づくり
- **やましな健康フェスタの開催　※**
- やましな熱中症ゼロ大作戦の実施
- 認知症サポーター養成講座開催支援
- **認知症声かけ訓練の実施地域・団体などの拡大**
- 心の健康寿命延伸体験事業の実施

機会を捉えた各種健診の啓発
（3歳児健診保護者、やましな健康フェスタなどのイベント）
- **各種事業や会議等における啓発**
- 山科健康づくりだよりの発行（年3回）
- やましなアプリによる情報発信

糖尿病予防，重症化予防の取組
- **健康教室**
- 減塩に関する指導

禁煙，受動喫煙防止
- **短期禁煙指導の実施会場の拡大**
- 防煙セミナー等による禁煙教育，受動喫煙防止啓発

機会を捉えた感染症予防，早期発見・治療などの啓発（関係機関会議）
- 地域貢献プロジェクトなど高齢施設・事業所との連携
- 出前健康教室等による啓発，学校保健との連携
- 広報等による啓発（特に新型コロナウイルス感染予防の周知）
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた事業実施

- 要保護・要支援児童等の関係機関と連携した支援
- 親子すこやか発達教室
- やましなお誕生おめでとう事業
- やましな子育て情報の発信
- 子育て支援機関との連携強化
- **山科区子育て応援フェアの実施　※**
- 幼児口腔保健の普及啓発

思春期健康教育

こころの健康を考える会による障害者理解の推進
- こころのふれあい夏まつり　※
- 精神保健福祉講演会
- 紙芝居を活用した出前健康教室などによる疾患の理解等の推進
- こころのマップの活用

※　新型コロナウイルス感染症の拡大により中止，又は内容を変更した事業（9月末現在）